教材教具および題材	学部	授業名・集団名 （主たる教科領域）	執筆者
おおきなかぶ、魚釣り ～具体物を使って～	中	国語・数学 Ⅰグループ （国語・数学）	

＜ねらい＞

・話の流れや登場人物について理解する。（おおきなかぶ）
・自分で登場人物の絵カードを選ぶことができる。（おおきなかぶ）
・魚をよく見て釣り上げ、教師と一緒に数を数えることができる。（魚釣り）

＜内容（作成方法・使用方法・工夫点など）＞

・おおきなかぶについては、大型絵本を使って物語の読み聞かせを何度か行った。その後、おじいさん・おばあさん・孫・犬・猫・ねずみの絵カードから、自分がやりたい絵カードを選び、簡単な劇を行った。おじいさんからねずみまでが１列になり、布で作ったかぶの葉をみんなで引っ張る劇を行った。かぶが抜けた時の喜びをみんなで味わうことができた。
・魚釣りについては、いろいろな魚をカラー印刷し、ラミネートをした後クリップを付けた。釣竿は、糸の先に磁石を取り付け、クリップに付けると魚を釣り上げることができるようにした。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞

・おおきなかぶについては、大型絵本を生徒の前に近付けて見せることにより、興味を持って見たり、指を指したりする生徒もいた。絵カードの選択は、最初は自分で選べない生徒もいたが、少しずつ自分で選べるようになってきた。何度か取り組むことにより、かぶの葉を持てたり、自分の前の友達の腰を持ったりして引っ張ることができるようになってきた。
・魚釣りについては、魚のクリップに釣竿の磁石を近付けて釣り上げることが難しいと思われたが、生徒達はよく見て意欲的に釣り上げることができた。釣った魚の数を数えることについては、自分で数えることが難しい生徒が多かったので、教師と一緒に絵カードと対応させながら取り組んだ。
・数の概念の指導について、具体物を用いて少しでも生徒に分かりやすく指導していくことが今後の課題になる。
・繰り返して実施することで、生徒達も授業の流れや内容を理解し、ある程度落ち着いて取り組むことができていた。
・手遊びや身体のリラックスなども繰り返して取り組めば有効であると思う。

＜その他（材料、費用、購入先等）＞

・材料に関しては、特に購入しなかった。